

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【地域貢献人材を育成する大学等への支援事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,337千円 (3,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	急速な人口減少や少子化・高齢化が進む中、広島広域都市圏の圏域経済の活性化及び圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現に向け、地域の活力の維持・向上を図り、圏域全体の持続可能性を高めていくため、地域に愛着と誇りを持って地域課題の解決や産業・経済の更なる発展等に貢献する人材を育成することを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	広島広域都市圏内の市町が属する広島県、山口県、島根県内の大学等を対象に、圏域内の市町及び企業・団体等と連携し、圏域内市町をフィールドとして取り組む大学等の教育研究活動（大学等において取り組んでいる研究分野のほか、各市町の地域課題の解決や地域の活性化等に関するもの）に補助金を交付する。 事業費：3,333千円 補助金額：1件当たり年間50万円を上限 （補助率：対象経費の10分の10）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大学卒業生の県内就職率 （+0.50%） ②本事業により実施された教育研究活動の数 （+50件）	関連URL	（デジタル田園都市国家構想交付金活用事業） https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html （効果検証） https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html



事業概要【若者が活躍するしごと創出と地元定着促進事業】

推進当初

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	536,381千円 (131,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	中小企業等への伴走型相談支援を実施することで、企業の魅力向上を図り、若者にとって魅力ある仕事づくりの促進に繋げていくとともに、DX人材の活用により企業のデジタル化を促進しながら、大学生に対する就職先としての企業の認知の向上を目指す。大学生がデジタル技術を習得したり、技術を実践する場を企業が提供するなどして、大学生と企業との関わりを広げていく。実証事業に基づき、大学周辺等へのサテライトオフィス誘致に繋げていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者にとって魅力的な仕事づくり（委託料等） 65,895千円 Hi-Bizによる中小企業への伴走型支援を実施することで仕事づくりや魅力づくりに繋げる。 ○若者の市内企業への就職促進（補助金）等 22,354千円 多様な人材と企業との接点づくり、企業PRや市内企業の認知度向上を図る。 ○大学発ベンチャー支援（委託料） 25,461千円 東広島イノベーションラボミライノ+による創業起業支援等 ○サテライトオフィス誘致（補助金） 15,000千円 賃貸等で新たに市内に事業所を開設する指定業種の法人に対し、開設費用のイニシャルコスト30%、ランニングコスト50%（イニシャルコストは初年度のみ交付対象）を上限額：500万円／年（最大3年間）で補助する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内大学の地元企業就職率（+3.38%） ②Hi-Bizにおける相談者のうち売上向上事業者の割合（+62.0%） ③サテライトオフィス誘致件数（+10件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25124.html



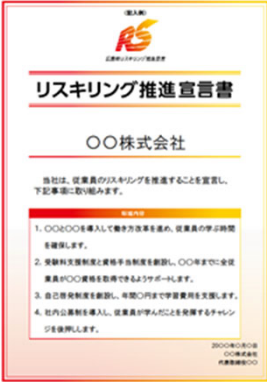
事業概要【広島型MaaS推進事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	200,310千円 (93,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	移動需要の少ない中山間地域においても、持続可能な生活交通サービスの実現に向け、デジタル技術を活用した実証実験を通じてMaaSの社会実装を行うとともに、取組を支える人材の育成と、新たな移動サービスの調査を行うことによって、地域公共交通の利便性と持続可能性の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○広島型MaaSの推進 ・デジタルを活用し、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す取組を実施する市町を補助 16,200千円 ○交通人材の育成 ・市町等の担当者を対象とした交通計画策定研修会の開催委託 7,000千円 ○モビリティデータ連携基盤 ・交通・人流・行政データの集積及び可視化等機能強化、実証実験の導入効果検証等、交通政策への活用 55,710千円 ○新たな移動サービスの調査 ・新たな移動サービスの調査・設計、実証実験の実施計画策定に関する委託 15,000千円	 地域通貨カードと紐づけた定額タクシーの利用	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな交通サービスの導入に向けた取組件数（+12市町） ②人づくり研修の参加市町数（+8市町） ③広島県モビリティデータ連携基盤の活用市町数（+16市町）	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【リスキリング推進企業応援プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	192,632千円 (64,298千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	DX推進に伴う雇用への影響や労働市場の変化などに関連した諸課題へ対応し、国内外の多様な人材や企業が集積し、企業・大学・金融機関・行政などのプレイヤーが相互につながることで、様々なオープン・イノベーションが生まれ、広島が「イノベーション創出拠点」と国内外から認識されていることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リスキリングの機運醸成10,000千円 ○デジタル基礎知識等習得支援、人材開発支援助成金活用支援、伴走型コンサルティング支援等30,000千円 ○人的資本経営導入支援24,298千円	 広島県リスキリング推進宣言 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①リスキリング推進宣言企業数 (+400社) ②経営者向けブートキャンプ(研修)参加者数 (+240人) ③人的資本経営に取り組んでいる県内企業数 (+100社) ④企業向けセミナー参加企業数 (+300社)	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【ひろしま食のブランド構築事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	69,651千円 (21,066千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産品分野
目的 (効果)	・比婆牛を含む広島和牛の価値を高め、取扱い店舗の拡大を進める。 ・持続的かつ安定供給のため、企業経営を目指す肥育経営体の規模拡大に取り組み、生産基盤の強化を図る。 ・生産者においても比婆牛を含む広島和牛づくりが誇りとなり持続的な生産体制が構築できる。 ・地魚の安定的な漁獲量の確保と供給体制の構築がすすみ、瀬戸内の多彩な地魚が広島を代表する食材となる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	瀬戸内地魚ブランド化推進事業 営業実証  広島和牛ブランド構築事業 認知向上に向けたPR・情報発信  食べる場づくり 流通の円滑化  県民や観光客の認知・評価の向上 ブランド強化・消費拡大		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①比婆牛を取り扱う高級飲食店の増加数 (+8店舗) ②地魚コースの取扱店舗数 (+32店舗)	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【被爆以前の広島市の歴史・文化の発信による活力あるまちの実現】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	315,465千円 (47,259千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・広島市の掲げる「国際平和文化都市」の実現に向け、市民や観光客をターゲットとして、歴史・文化の発信に重点を置いた事業を展開し、活力あるまちづくりを目指す。 ・また、歴史・文化の発信拠点の整備を進め、広島城一帯の更なる魅力の創出と周辺エリアの回遊性の向上、持続的な活力あるまちづくりを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○被爆以前の広島市の歴史・文化に触れ、学び、その魅力を知ってもらう機会を提供し、広島城への関心の高まりと来訪機会の増加につなげる。また、天守の木造復元に向けた調査・検討を通じて機運につなげる。 ・広島城をテーマとしたトークイベント等の開催 (委託費) 3,260千円 ・広島城天守の木造復元に向けた調査・検討等 (委託費) 33,521千円 ○旧日本銀行広島支店において広島市が所蔵する歴史資料を活用し、被爆以前の広島市の街並みや市民の暮らし等を紹介する展示を行う。 ・広島市の歴史・文化を紹介する展示の開催 (委託費、消耗品費、通信運搬費、嘱託人件費) 7,308千円 ・被爆建物である旧日本銀行広島支店でのガイドツアーなど、広島市の歴史・文化を深く学ぶ事業の実施 (嘱託人件費) 3,170千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①広島城天守閣入館者数 (+310,000人) ②二の丸復元建物入館者数 (+125,000人) ③旧日本銀行広島支店入館者数 (+18,800人) ④広島市の歴史の認知度 (+75%)		関連URL (デジタル田園都市国家構想交付金活用事業) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html



広島城天守



旧日本銀行広島支店

事業概要【住みたいまち竹原・移住人口拡大推進事業】

推進当初

申請者	広島県竹原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,234千円 (6,728千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・空き家の実態把握を実施することで、移住希望者のニーズに合う潜在物件を掘り起こす。 ・移住希望者のニーズにあった物件を選定し、たけはら暮らしが体験できるお試し住宅として整備する。 ・関係・移住・定住人口創出・拡充イベントをテーマごとに実施することにより、多様な移住者を確保し、地域活力の低下や担い手不足などの地域課題の解決を図り、持続可能なまちづくりを実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住を希望する若い子育て世代をメインターゲットに、住む場所としての魅力に気づいてもらい、空き家の内覧、景色など住むイメージを持ってもらうための動画を作成する。 移住定住プロモーション事業（補助金） 1,500千円 ○先輩移住者及び地域住民とつながりづくりのプログラムを提供する。 関係人口イベント事業（委託料） 1,228千円 移住定住イベント事業（補助金） 2,000千円 ○空き家調査の対象及び空き家バンクの物件の中から、移住希望者のニーズにあった物件を選定し、実生活が営めるよう、たけはら暮らしが体験できるお試し住宅として整備する。 お試し住宅整備（補助金） 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（施策に関連したものに限る）（+41人） ②空き家バンク新規登録件数（+40件） ③お試し住宅利用件数（+48件）	関連URL	https://www.city.takehara.lg.jp/gyouseijoho/seisaku_keikaku/gyouzaisei/tihousousei/6338.html



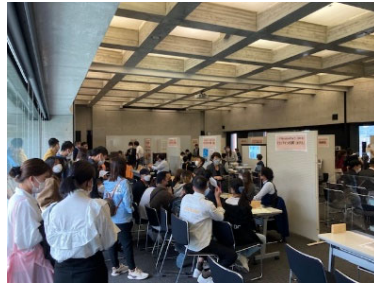
事業概要【福山市地域戦略～多様な主体と共に創る地域づくりの推進～】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	142,376千円 (40,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・課題解決型の地域づくり、多様な主体と共に創る持続可能なコミュニティの形成を図る ・市内外の関係人口の発掘を行うとともに、地域との関係強化の機会を設け、関係人口として地域づくりに関わる人材の育成を図る ・地域資源を活用した地域の魅力向上により、関係人口の創出やシビックプライドの醸成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○課題解決型の地域づくり、多様な主体と共に創る地域づくりへの転換 ・まちづくりサポートセンターによる「地域や多様な主体のマッチング」、「相談支援」、「多様な主体同士のネットワークの形成」(委託料) 25,977千円 ○市内外の関係人口の発掘、地域との関係強化 ・ワーケーション人材や移住(希望)者など、市内外の多様な主体との交流促進、地域との関係づくりの場づくりに取り組むとともに、地域と多様な主体の連携事例の発信、横展開への支援(委託料) 3,277千円 ○地域資源を活用した魅力向上 ・空き家活用による人の呼びこみ等を行う地域への支援(補助金) 900千円 ・農林水産業や文化資源などの新たな魅力の創出(委託料) 10,346千円  多様な主体同士のネットワークの形成  関係人口と地域との関係の場づくり		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ワーケーション事業を通じて立ち上がったプロジェクトへの参加者(+80人) ②まちづくりサポートセンター登録団体(社)数(+40団体・社) ③「地域資源活用調査」を踏まえた地域資源を活用した事業実施件数(+11件)	関連URL	・まちづくりサポートセンター https://fukuyama-machisapo.com/ ・福山市地域資源活用調査 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kikaku/301991.html

事業概要【外国人が暮らしやすく活躍できるまちづくり】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	8,302千円 (2,892千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・行政・生活情報提供体制、相談体制の充実を図る ・防災意識の向上や災害時の支援体制の整備により、外国人にとっても安心・安全なまちづくりを進める ・日本語の学習機会の創出や企業の外国人採用促進などにより、文化や言語の違いがあっても自身の能力が十分に発揮でき、まちの活力創出に向けて取り組むことができる環境の実現を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○行政・生活情報提供体制の充実 ○相談体制の充実 ・通訳ボランティア派遣（報償費）120千円 ○多様な人が集える場の設置 ・日本語サロンの開催（負担金）240千円 ・ボランティアのための外国語サロンの開催（負担金）460千円 ○日本語学習支援 ・日本語教室・ボランティア養成講座（報償費）140千円 ○外国人の活用支援 ・留学生向け合同企業説明会・企業向けセミナー開催（委託料）1,648千円 ○多文化共生の推進 ・外国人施策の効果検証、再構築（報償費など）284千円   留学生向け合同企業説明会 子育て支援通訳ボランティア		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人市民のうち、「これからも福山市に住み続けたいと思う」と回答した人の割合（+80%） ②多文化共生大学の参加者数（+407人） ③外国人が増えることを肯定的にとらえる市民の割合（+57%）	関連URL	・子育て支援通訳ボランティア研修会 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/so-shiki/tayouseisyakai-suishin/291333.html ・日本語ボランティア養成講座 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/so-shiki/tayouseisyakai-suishin/314257.html

事業概要【ドローンを軸とした地方創生推進事業】

推進当初

申請者	広島県府中市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,500千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	本市には、ドローンメーカーがあり、可変ピッチによる機体制御など独自技術を用いたドローンを製造している。また、市内では、早くからドローンをまちづくりに起用する動きがあり、市民のドローンに対する理解も深い。こうした背景生かし、ドローンに関する実証実験の支援や地域課題の解決に積極的に取り組むことで、ドローンに関する産業、人材、研究機関等が集積し、関係人口の増加などの好循環が生み出される「ドローンのまち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	(1) 本市の抱える課題をドローンにより解決する実証実験を実施するとともに、企業が自社のドローンの社会実装を目指す際に必要となる実証実験の実施を支援する。 ア 地域課題解決事業 (委託料) 5,000千円 イ 社会実装支援事業 (補助金) 1,500千円 (2) 市内外からの問合せに対応するとともに、ドローンに関する知見を活かした市内外企業のマッチング及び市外企業の実証誘致を図る。 ア 問合せ窓口/各種調整事業 (委託料) 5,500千円 (3) ドローンコミュニティを継続して運営するとともに、市内ものづくり企業の参加を強化し、関係強化を図るとともにコミュニティ参加者による交流会を実施する。 ア ドローンコミュニティ運営事業 (委託料) (2)アと一体 ウ 交流会事業 (委託料) 1,000千円 (4) 市民の理解促進を目指したドローン体験会、企業展示会等の普及啓発イベントを実施する。 ア 普及啓発イベント事業 (負担金) 4,000千円 (委託料) 1,000千円 イ 戦略的プロモーション事業 委託料: (2)アと一体		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①実証実験数 (+31件) ②市の財政的支援を受けて実施された実証実験数 (+21件) ③市の支援を受けてドローンに関する起業等した企業数 (+3件) ④ドローンコミュニティ参加者数 (+320人)		関連URL https://www.city.fuchu.hiroshima.jp/soshiki/keizaikanko/kankouchiikiburandosuisin/kankosinko/8568.html

事業概要【若者が活躍するしごと創出と地元定着促進事業】

推進当初

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	360,769千円 (131,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・若者にとって魅力的な仕事づくり ・若者の市内企業への就職促進 ・大学発ベンチャー支援及び市内産業とのネットワーク構築 ・サテライトオフィスの誘致		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 若者にとって魅力的な仕事づくり ・中小企業への伴走型支援による仕事づくりと魅力づくり (委託料等) 65,895千円 2 若者の市内企業への就職促進 ・若者をはじめとする多様な人材と企業の接点づくりと企業のPR (補助金) 等 22,354千円 3 大学発ベンチャー支援 ・東広島イノベーションラボミライノ管理運営等業務委託 (委託料) 等 28,461千円 4 サテライトオフィスの誘致 ・サテライトオフィス誘致促進支援(補助金) 15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内大学の地元企業就職率 (+1.55%) ②Hi-Bizにおける相談者のうち売上向上事業者の割合 (+27.5%) ③サテライトオフィス誘致件数 (+4件)	関連URL	https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25145.html

事業概要【広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	392,640千円 (124,214千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	仕事・暮らし、地域社会、行政の各分野でデジタル技術を積極的に活用し、ビジネスモデル、オペレーション、組織文化などの在り方に変革を起こすことによって、新たな価値を生み出し、県民の暮らしを豊かにするため、県内の民間事業者がDXを自分事としてとらえ、それぞれの目的の実現に向けて試行錯誤している状態を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	支援機関とITベンダーが連携した支援環境 支援機関 (金融機関、商工会議所、商工会等) デジタルリテラシー・支援スキルの強化 ビジネス変革を支援できる人材の育成 IT ベンダー 連携 ビジネス変革への挑戦を後押し 民間事業者 ビジネス変革を推進できる中核的人材の育成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル技術の活用を含めたビジネス変革に取り組んでいる民間事業者等の割合 (+20%) ②デジタル技術の活用による事業者等の課題解決件数 (+106件) ③DXの実践に向けた伴奏支援によるモデル事例の創出件数 (+340件)		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://dx-hiroshima.jp/ (効果検証) https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html	

事業概要【行政からはじめるデジタル実装！県内自治体の広域連携によるスタートアップ 「共同」調達推進事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,000千円（60,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	○ 新たなビジネスにおける行政主導型支援環境を構築し、革新的なデジタル技術を持つ企業・人材と地方の中小企業の協業を行政主導で進め、生産性の高い魅力的な中小企業として雇用を創出している。 ○ 生活の中でデジタル技術に触れる機会を増やすことで、徐々に自らがイノベーションの主役だと考える意識醸成を図り、地域全体においてデジタル技術を取り込んでいく文化資本を形成することにより、DXを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SU等が開発した、デジタル技術の活用により地域課題の解決を図る商品・サービスについて、市町等による共同調達を通じて、県内への実装と横展開を促進する。 ・事業実施に係る事務局委託費（30,000千円） ・試験導入に係る実証委託費（30,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル技術の活用を含めたビジネス変革に取り組んでいる民間事業者等の割合（+20%） ②県内市町や関係団体（学校・病院等）のデジタル実装件数（+20件） ③イノベーション実現企業率（+6%） ④イノベーション活動実行企業率（+6%）	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html



事業概要【デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	59,490千円 (19,867千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	ウィズ/アフターコロナ時代において、将来にわたって安心して暮らしを営むことができる環境を維持していくため、暮らし全般にわたる全体最適を目指す「スマート里山・里海」の実現に向け、日常生活に直結する様々な分野において、デジタル技術を活用した新たな生活サービスを導入しようとする市町を支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○広域展開の推進等 ・令和5年度までに実装が完了したモデルの他市町への横展開、共同課題の深掘りや解決に資するソリューションの構築等の委託14,412千円 ○サービス導入を目指す市町に対する技術的支援 ・ソリューション探索・開発の支援、モデル構築の支援等の委託3,517千円 ○全体調整等 ・実施計画の作成、定例会議等の委託1,938千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①複数の市町に展開したモデル的な取組件数（+3件） ②デジタル技術を活用した課題解決サービスの実装化件数（+6件） ③事業導入にむけて県による技術的な助言等の支援を新たに受ける市町数（+14市町）	生活交通 ～新たなモビリティサービスによる生活交通の確保～ 定額制サービス、データ活用による運行効率向上 定額制サービス 輸送資源活用 目的地との連携 防災・減災 ～ドローンを活用した防災対策～ ドローンを活用した、障害物の共有や緊急物資の搬送など、高度な運用ネットワークシステムを構築 農地保全 ～センサーネットワークによる獣害抑制～ 感知センサーをメッシュ配置し、迅速な対応や被害を減らす 医療・福祉 ～遠隔医療を活用した医療体制の確保～ オンライン診療・緊急指導と遠隔医療等を含め、定期的な巡回サービスを提供 移住・定住 ～AIを活用した移住相談システム～ 県A相談と連携し、相談者のニーズに対応した市町の施策を提案	関連URL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【国内外から人を引き付ける広島ならではの魅力づくり】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,916千円 (24,190千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・平和大通りを「平和のシンボルロード」にしていくとともに、広島歴史・文化やにぎわいあふれる広島の「今」を感じることができるよう、都心回遊の重要な拠点にしていくことを目指す ・平和大通りの魅力の向上を図る ・平和大通りの利活用の促進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○平和大通りの利活用のための整備 ・Park-PFIを活用し、民間事業者が整備する区域について、民間事業者の公募から選定、協定の締結までに必要となる検討や資料作成等（委託料）11,990千円 ○平和大通りの持続的な利活用に向けた枠組みの検討・検証 ・社会実験を通じ、枠組みを検討・検証するためのワークショップの開催等に係る準備・運営等（委託料）12,200千円		 ワークショップ開催の様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①平和大通りを行き交う歩行者の数（+33人） ②平和大通りで行われるイベントの実施回数（+8回） ③広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺における歩行環境の満足度（+2.4%）		関連URL （デジタル田園都市国家構想交付金活用事業） https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html （効果検証） https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html

事業概要【地域コミュニティ活性化ビジョン推進事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	111,432千円 (45,313千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	令和4年2月に策定した「地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づく取組を推進することにより、住民同士が支え合い、安全・安心に暮らすことができる持続可能な地域コミュニティの実現を図る。		
事業概要・ 主な経費	【担い手の確保】 ○若年層を対象とした地域活動への参加意識を醸成するワークショップ及び地域コミュニティへの参加を考えるフォーラムの開催 ・開催経費（委託料）2,200千円 ○ICTの活用講座及び活用実務研修の開催 ・講師謝礼金（報償費）633千円 【地域運営組織の設立に向けた機運醸成や支援策の検討】 ○地域コミュニティ活性化ビジョンの啓発用冊子等の作成 ・冊子及びチラシの印刷（消耗品費）990千円 ○支援策等に関する意見交換を行う懇談会の開催 ・委員謝礼金（報償費）384千円 ・ZoomProライセンス更新（使用料）40千円 【地域運営組織の設立及び運営支援】 ○連携して取組を進める広島市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）の体制強化 ・プロパー職員人件費（補助金）19,050千円 ・備品整備（備品購入費）1,560千円 ○専門家等の派遣 ・まちづくりに知見のあるコーディネーターの派遣（委託料）8,000千円 ・税理士、社会保険労務士、地域運営組織の会長等の派遣（報償費）3,600千円 ○市社協が実施する簡易経理機能等を備えたシステムの構築・運用支援 ・市社協によるシステム構築及び運用・保守の支援（補助金）4,040千円 ・システムに係るライセンス料（使用料）1,296千円 【地域コミュニティ活性化に向けた機運醸成】 ○地域コミュニティ活性化に関するワークショップの開催 ・ワークショップ開催経費（委託料）2,800千円 ・地域団体向け説明会開催経費（食糧費）720千円		
※経費内訳はR6年度事業費	《 地域運営組織のイメージ 》 《 地域コミュニティ活性化に関するワークショップの様子 》		
KPI	①住んでいる地域のコミュニティ活動に参加した市民の割合（+8.50%） ②地域運営組織の設立数（+72地区）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL （デジタル田園都市国家構想交付金活用事業） デジタル田園都市国家構想交付金活用事業 - 広島市公式ホームページ 国際平和文化都市 (hiroshima.lg.jp) （効果検証） 広島市実施計画(2020-2024)、第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略のPDCAサイクルの実施 - 広島市公式ホームページ 国際平和文化都市 (hiroshima.lg.jp)		

事業概要【戸山地域・湯来地域活性化プランの推進に係る地元住民及び事業者による
自立的・持続的な取組への支援事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	13,625千円 (3,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本市の中山間地域である安佐南区戸山地域と佐伯区湯来地域において、自然や温泉、歴史、文化、伝統などの地域資源を活用し、住民主体の地域づくりの取組の促進や、これらと連携した公共施設の再整備などに取り組むことで、両地域を一体的に捉えたエリアイメージを都市住民に鮮明に打ち出し、交流人口の拡大等によりこれまで以上にヒト・モノ・カネが循環する地域を実現し活性化していく。		
事業概要・ 主な経費	地元住民や事業者が、「戸山地域・湯来地域活性化プラン」に自立的・持続的に取り組めるよう、行政が先導して広報や研修、協議を進めながら、実証実験を行って実施体制構築や制度設計などの支援策を整備する。 ○地域の主体的な取組に対する支援策の試行 ・地元住民や事業者が自ら活性化を推進していくための協議や研修の体制づくりのコーディネート (委託料) 2,400千円 ○ランドオペレーション・広報等の制度設計 ・前年度の取組結果や関係者の意向を踏まえ、事業スキームを確立 (委託料) 1,500千円		
※経費内訳はR6年度事業費	「戸山地域・湯来地域活性化プラン (令和4年3月策定)」の概要 中山間地域に属するが広島市中心部からアクセスしやすく、また、地域が有した様々な魅力ある資源等をもとに地域の活性化に向けて活動している地域である戸山・湯来の両地域を一体として捉えたエリアイメージを打ち出し、地域や民間事業者、行政が一体となって取組を進めていくことにより、両地域の魅力向上及び都市住民との交流拡大等を図る。 エリアイメージ すぐそこにあり、気軽に楽しめるエリア 多様な魅力により、自分なりの過ごし方がすぐに実現できるエリア 共に地域の活性化に取り組むエリア 【①取組方針】3 + 1の「い空間」 【②取組姿勢】備案反応 地域が有する価値に誇りをもつ 地域に誇りをもつ 各取組に楽しんで取り組む 各取組は、地元住民が楽しみながら取り組める内容とする。地元住民が楽しんでいるからこそ、取組は続き、地域の魅力は伝わる。楽しみも魅力の一つである。ピンチをチャンスに転換させる 例えば、空き家や公共施設を有効活用することで、新たな魅力を創り出す。取組がめぐるれば課題も見えるが、よりよい取組にする機会と捉え、知恵を出し合って解決する。一番の応援になる 地元住民は、プレイヤーとして取組を進めるだけでなく、各取組への参加や利用を通じて積極的に応援したり、取組に参加する人を歓迎したりする。 【③】をきっかけに地域を活性化		
KPI	①本事業によって増加した交流人口 (イベント等の参加者数) (+1,200人) ②本事業により実施したイベント等で地元住民・事業者が負担する自己資金額 (+1,200千円) ③本事業により実施したイベント等に携わったスタッフの人数 (+180人)		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL (デジタル田園都市国家構想交付金活用事業) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html		

事業概要【アーバンスポーツの振興】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,512千円 (6,780千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	本市は、アーバンスポーツが特に若い世代に人気が高い特性を生かし、国内外から多くの若者が集い、交流し、発信する、新たなにぎわいの創出につなげ、平和文化の一つとして根付かせ、将来的に広島がアーバンスポーツのメッカとなることを目指し、将来的に競技団体が自らの資金調達によりアーバンスポーツイベントを主催できるよう育成しつつ、段階的に支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	毎年広島で開催される定期的なイベントとしてのアーバンスポーツイベントの実施や普及啓発チラシ・ポスターを通じて、ルールやマナーの定着を図りつつ、アーバンスポーツ人口の拡大を促進するとともに、まちの活性化を図る。 (1) スケートボードやパルクールといった各競技の上級者によるデモンストレーションやコンテストを盛り込んだアーバンスポーツイベントを実施する。(委託料) 6,000千円 (2) アーバンスポーツのルールやマナーの啓発に資するチラシやポスターを作成し、イベントで配布、掲示するほか、競技者・愛好者との接点であるショップ等にて配架、掲示する。 (消耗品費) 110千円 (3) 初心者を対象としたアーバンスポーツのルールやマナーを学ぶ体験会を実施する。(委託料) 670千円 2023年の取組  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アーバンスポーツイベントの集客者数 (+25,000人) ②競技団体と本市及び周辺自治体との連携回数 (+34回) ③コンソーシアムを組成する競技団体の主催事業回数 (+2回)	関連URL	(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html

事業概要【『選ばれるまち竹原』ローカルブランディング事業】

推進当初

申請者	広島県竹原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,667千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地域DMOが中心となり全市的な統一したブランドイメージを構築し、竹原独自の魅力を創造することで「選ばれるまち竹原」となり、地域の「稼ぐ力」を引き出しながら持続可能なまちづくりを実現する。 ・ローカルブランディングの実現に向けて、協議体創出、発信素材収集、新規HP構築、ツール作成等により、連携する民間組織それぞれが相互自発的に地域の魅力を発信し共有し合える土壌を形成する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内各団体等との連携によりブランドイメージを構築・共有しながら、ブランディング事業の核となる基本戦略を作成するとともに、各種情報発信によりブランドイメージの定着・強化を目指す。 ・ブランディング戦略作成業務（委託料）1,000千円 ・ブランディングツール制作・イベント実施業務（委託料）12,000千円 ・情報一元化支援業務（委託料）500千円 ・ホームページ構築業務（委託料）500千円 ・歴史的建造物・町家活用業務（委託料）1,000千円 ・関係事業者との連携業務（委託料）1,000千円 ・DMO環境整備補助（補助金）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ブランディング情報発信プラットフォーム年間pv数 （+50,000pv） ②ふるさと納税件数（+1,000件） ③竹原市まちなか賑わい創業支援事業助成金交付要綱別表1に定める地域における空き家・空き店舗活用数 （+7件）	関連URL	https://www.city.takehara.lg.jp/gyouseijoho/seisaku_keikaku/gyouzaisei/tihousousei/index.html



事業概要【市民のスポーツ実施率向上事業】

推進当初

申請者	広島県三原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,439千円 (6,110千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	スポーツ大会やスポーツイベントなどを開催し、子どもから大人までの幅広い世代に対してスポーツに関わるきっかけを提供することで、スポーツ実施率の向上に寄与し、本市がめざす「市民が健康で心豊かな生活を送り、スポーツを通じて地域や社会とのつながりを持ちながら暮らしていくことができるまち」に近づいていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○佐木島自転車レース開催 ・大会運営経費・ボランティア経費等（補助金） 5,000千円 ○佐木島自転車レース広報 ・ステージイベント開催・街頭バナーの設置等（委託料） 460千円 ・プロモーション動画の配信（委託料） 500千円 ○スポーツのテーマパーク開催 ・イベント運営経費（消耗品費） 150千円	 佐木島自転車レース  スポーツのテーマパーク	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生涯スポーツイベント（自転車活用事業@佐木島、スポーツのテーマパーク）への参加を通じて「これからも継続してスポーツに取り組みたい」と感じた参加者の割合（+60.0%） ②1年間ほぼスポーツをしない市民の割合（▲14.1%）	関連URL	https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/6/sougousenryaku.html

事業概要【尾道移住コンシェルジュ推進事業】

推進当初

申請者	広島県尾道市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,200千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住希望者や関係人口に対するきめ細やかな対応を行う総合窓口として「移住コンシェルジュ」を設置する ・移住希望者等の地域における受け入れ団体や人材の配置・育成とネットワーク化を図る ・移住希望者等が地域や住民、団体、企業等と円滑に接触・交流が図れるような機会作りに取り組む		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本市への移住希望者や関係人口等の総合窓口となる「移住コンシェルジュ」の設置 ・相談窓口の運営（相談対応・情報発信・交流イベントの開催） （委託料）5,500千円 ○空き家バンクの実施や、創業・出店等に係る支援による移住相談ネットワークの強化 ※市単独財源で実施 ・空き家バンク運営経費（委託料） ・創業や出店等に係る経費支援（補助金） ・受け皿人材の育成に係るセミナーの開催費（報償費・旅費）	 窓口紹介リーフレット  移住体験ツアー  移住者交流イベント	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談者のUIターン数（+36人） ②移住相談窓口の利用者数（+150人） ③移住・定住の促進、関係人口の拡大に取り組む協力団体数（+30団体）	関連URL	調整中

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	194,632千円 (92,535千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・多様な主体の参画によるばらの価値の磨き上げ及び新たな価値の創出を図る ・「Rose Expo FUKUYAMA 2025」などにおける情報発信により、「ばらのまち」「観光都市」としての認知度向上を図る ・案内標示の多言語化や受入ノウハウの構築・共有等により、国際MICE・インバウンドの受入体制整備を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国内外に向けた「ばらのまち福山」のブランディング広報（プレ事業の開催による機運醸成ほか）（負担金）37,002千円 ○応援宣言による多様な主体の参加促進（負担金）351千円 ○Rose Expo FUKUYAMA 2025の実施準備（負担金）15,475千円 ○市民参加によるばらの環境整備（需用費）1,809千円 ○首都圏等へのセールスによる誘致活動の促進（報償費）893千円 ○観光パンフレットの多言語化、首都圏のIME参加（負担金）3,400千円 ○MICE受入に係る市民参加セミナーの開催ほか（負担金）437千円 ○多言語対応のデジタルマップの機能拡充（負担金）3,423千円 ○飲食店・文化施設・観光施設の多言語化表記によるインバウンド受入環境整備（補助金）5,544千円 ○世界バラ会議及びRose Expoの機会を捉えたおもてなしの充実及び市街地の面的景観装飾による観光誘客の促進（負担金）20,884千円 ○世界バラ会議の効果検証及びMICE誘致ケーススタディ（負担金）3,317千円  Rose Expo 1年前イベント開催を通じた機運醸成 応援宣言 ●宣言件数 1,700 件 突破  世界バラ会議応援宣言による多様な主体の参加促進 1 ばら育てる取組 2 大会ロビーを善用するなど、大会のPR活動に協力する取組 3 ばらの花や、折ばらを使用した飾り付けなどの、おもてなしの取組 4 食問ばら、書籍、寄りなどを活用した商品開発やメニューを提供する取組 5 その他、大会の機運醸成につながる取組		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①総観光客数（+3,070千人） ②世界バラ会議福山大会応援宣言の数（+350件） ③首都圏における「ばらのまち福山」の認知度（+8.8%）		
	関連URL	世界バラ会議福山大会2025HP https://wrc2025fukuyama.jp/	

事業概要【若者・女性に選ばれる都市づくり】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	173,072千円 (65,770千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・働きやすい地元企業の認知度向上を図る ・女性が活躍しやすい環境づくりをはじめ、誰もがチャレンジできる環境整備を図る ・福山駅周辺を中心としたにぎわいの創出や最新のテクノロジーに触れる機会の提供により、都市の魅力向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	取引拡大 人材の確保 技術力向上 実践内容の情報発信 企業の参画 取組例 工場CO2排出削減プロジェクト グループ例 環境技術G 女性が働きやすい職場づくりプロジェクト 女性・高齢者・障がい者等の雇用G 男性育児取得率向上プロジェクト 働きやすい職場環境G 生産性向上プロジェクト デジタル技術G プラットフォームの機能 = 情報共有・交流や共同研究など実践の場 産業支援機関等によるサポート 産業支援機関・金融機関・大学・行政 グリーンなものづくり企業プラットフォームのイメージ		
KPI	①20歳～24歳の男女転出入数（+391人） ②市内大学卒業生の地元就職率（+5.9%） ③市内高校生の地元就職率（+13.2%） ④ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者数（+20事業者）	関連URL	・グリーンなものづくり企業プラットフォーム https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/sangyou/315313.html

事業概要【ふくやまSDGs推進プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	78,836千円 (31,708千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・課題解決や商品開発に向けた多様な主体のマッチングプラットフォームを通じて、循環型経済の推進を図る ・環境にやさしいライフスタイルの定着及び持続可能で住みよい暮らしを支える製品・サービスの需要喚起を図る ・豊かな里山里地里海の保全による温室効果ガス吸収源の確保を図る ・デジタル技術の活用や経営力のある担い手の誘致により、農林水産業の生産性や魅力を高め、農林水産業の担い手確保を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇省エネ・再エネの普及促進・循環型経済活動への転換 ・福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラットフォームの運用、モデルケース創出、参加企業への伴走支援（委託料）9,900千円 ・先端技術等を活用したSDGsに資する課題解決に向けた実証実験の支援（補助金）4,000千円 ・企業の省エネルギー化に向けた省エネ診断の支援（補助金）525千円 ・SDGsの好事例の発信による機運醸成のためのイベント等の開催（委託料）6,500千円 〇温室効果ガスの吸収源の確保に向けた仕組みづくり・人材の確保 ・地域と都市住民等との協働での里山里地の再生・保全活動の支援（需用費・補助金・交付金等）2,423千円 ・農業法人の探索、参入候補地域の選定に係る支援（委託料）8,360千円 福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラットフォームイメージ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①交付金事業を通じて生まれたプロジェクト数（+32件） ②（仮称）福山版サーキュラーエコノミープラットフォームのアクセス件数（延べ）（+32,000件） ③農業参入法人による雇用者数（+60人）	関連URL	・福山市SDGs未来都市 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kikaku/297615.html

事業概要【「小屋浦地区」活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県坂町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,900千円 (28,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・抜本的な人口対策による小屋浦地区の人口増加 ・小屋浦地区における関係人口・交流人口の増加 ・小屋浦地区の賑わい創出		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇小屋浦地区活性化基本構想等策定業務委託 28,600千円 (1) 事業対象地の現状把握 事業対象地のインフラ状況や都市計画法、建築基準法等の法的条件や周辺環境など想定される課題を抽出し、整理を行う。 (2) 事業対象地を活用した配置計画等の作成 事業対象地における機能誘致施設の配置計画等を作成する。 (3) 事業者誘致に向けた手法、プロセスなどの整理 誘致活動に効果的な誘致方法の提案、スケジュールなどの整理を行う。 (4) 事業者誘致コーディネーターの配置 関心のある企業の相談を受けるとともに、面談等を実施する。 (5) 事業者誘致支援 事業者等から事業対象地における機能誘致の提案募集に係る支援を行う。 (6) 機能誘致提案募集 事業対象地における機能誘致の提案を事業者等から募集する。 歩いて日常生活が完結できるまち ～坂町小屋浦～		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小屋浦地区の社会増減数 (+80人) ②SNS登録者数 (フォロワー数) (+830人) ③移住・定住相談件数 (+80件) ④小屋浦地区の15歳未満の人口総数 (+38人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.saka.lg.jp/

事業概要【農業振興によるまちづくり推進事業】

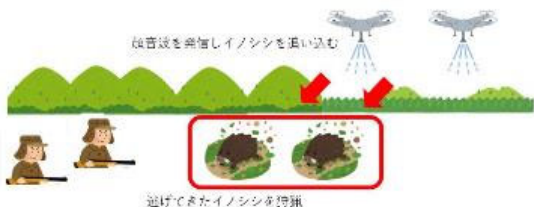
推進当初

申請者	広島県北広島町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・町民と将来ビジョンを共有することで協働のまちづくりの促進を図る ・「米どころ北広島町」のブランディングにより農業者の所得向上、農業経営の安定化を図る ・コンソーシアムの活動を活性化させることで新たなビジネスを創造し地域産業の活性化を図る ・多様な情報発信ツールを活用してまちの魅力を発信することで関係・交流人口の拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	将来ビジョン ■アンケートやイベントを通じて、町民により決定 ■町民が目指したいKPI ■町民を巻き込み、町民により継続される事業に。 ■長期総合計画、総合戦略などをベースに、町民が読みやすく、わかりやすい資料に。 シビックプライドの醸成 A若い世代 B農業従事者 まちづくり関係者 まちづくりに参画する お米・農業・まちづくりの価値を知る 農業振興＝まちづくりを知る		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数（+5件） ②全日本お米グランプリin北広島町への応募点数（+200点） ③農業の担い手確保（新規就農者）の人数（+6人）		
	関連URL	https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/7133.html	

事業概要【目的観光地としての食（白米） 魅力発信事業】

推進当初

申請者	広島県北広島町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,000千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・北広島町へ新しい人の流れを作り、関係人口増を図る ・特定ターゲットに対してSNSでリーチしていく ・SNSによる本町の魅力情報発信を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■統一感のある世界観構築のためのSNSによる情報発信 ○北広島白米観光誘客推進協議会での調査研究 ・アドバイザー招聘 500千円 ・効果検証・分析・報告 1,000千円 ○SNSの活用講座・情報発信教育 1,500千円 ○汎用的コンテンツを利用した情報共有とSNS拡散の実施 2,000千円 ■広報に対して戦略的に有意義なイベントの実施 ○戦略的イベント事業の調査研究・分析・報告 1,050千円 ○「白米を食べにくる」ことを目的としたイベントのへ変換・実施 ・専門人材招聘 900千円 ・ツーリズムの開発イベント開催 1,050千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数 (+4,337PV) ②北広島町SNSのフォロワー数 (+6,665人) ③SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数 (+273人) ④SNS発信講習会に参加した延べ住民人数 (+90人)	関連URL	https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/7133.html

申請者	広島県神石高原町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・ドローンを活用した有害鳥獣対策による地域の魅力向上 ・ドローンを活用した買物対策による日常生活の利便性の確保と地域内循環の促進 ・次世代の担い手育成 ・ドローンを活用している地元の担い手が関係団体と連携して活躍する場の創出		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ドローンによる生息域の特定など、効果的な有害鳥獣対策の実施 ・事業構想・計画策定・実証委託料 5,000千円 ○大型ドローンによる物流の導入検証 2,000円 ○次世代育成のための小中学生向けドローン見学会等の実施 ・実施委託料 1,000千円 ○全体経費 2,000千円	 有害鳥獣対策 実施イメージ図  次世代育成事業	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①有害鳥獣捕獲数の増加件数 (+600匹) ②実証した飛行時間、距離、搬送重量をベンチマークとして、住民が利用を想定した意向調査の回答件数 (+220件) ③見学会・体験会の参加人数 (+350人) ④レベル4 飛行対応のための運用体制構築ナレッジの蓄積 (+17件)	関連URL	調整中

事業概要【スタートアップ・中小企業の海外進出支援事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	114,000千円 (38,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	国内外の多様な人材や企業が集積し、企業・大学・金融機関・行政などのプレイヤーが相互につながることで、自社のみではなく他社と様々なオープン・イノベーションが生まれ、広島が「イノベーション創出拠点」と国内外から認識されている。これにより、県内における新規雇用者数が増加し、消費や生産額が増加していることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○現地ネットワーク構築及び拠点設置等支援 ・海外進出に向けたネットワーク構築支援【委託料】27,500千円 ・拠点設置及び現地採用支援【委託料】10,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+9人) ②イノベーション実現企業率 (+6%) ③イノベーション活動実行企業率 (+6%) ④海外進出支援事業参加企業数 (+15社) 関連URL 【戦略】 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html 【R6年度事業】 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/247/hiroshima-unicorn10southeastasia.html		

事業概要【竹原発スタートアップ支援事業「人財の誘致・育成事業」】

推進当初

申請者	広島県竹原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,910千円 (29,840千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・スタートアップ支援を通して、スタートアップ立地の誘致による若者に人気の高い魅力的な雇用の場の創出を図る ・スタートアップと市内事業者の協業による実証活動や交流・連携により、市内事業者の新たな事業創出や事業拡大等につなげ、新規事業化を図る ・若者等のスタートアップへのチャレンジ意欲の向上や新たな技術やアイデアにふれる機会や関心を持つ機会をつくり将来的に市内企業を支えるDXを推進する人財を育成する ・都市部からの新しい人の流れを創出する交流・関係人口の創出、空き家や空き店舗の活用により移住・定住の促進につなげる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	(1)たけはらDX(アクセラレータープログラム)事業【運営補助金 23,840千円】 ①スタートアップの選定に係る募集準備・募集・選定 2,740千円 ②事業実証計画の策定・週次メンタリングによる実行 19,500千円 ③中間発表企画・当日運営 200千円 ④成果発表企画・当日運営 200千円 ⑤WEBサイトでの情報発信 1,200千円 (2)未来のDX人財育成事業【運営補助金 3,000千円】 ①スタートアップ×市内事業者×若者等との交流イベントの企画・開催 ②起業/新規事業創出に関心を持つ者等へのワークショップ企画・開催 ③WEBサイトでの情報発信 (3)女性チャレンジ応援事業【運営補助金 3,000千円】 ①スタートアップ(女性起業家)との相談イベントの企画・運営 ②女性のインターンチャレンジ企画・運営 ③WEBサイトでの情報発信 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+63人) ②スタートアップ立地件数 (+2社) ③ハローワーク竹原管内区域内における女性の就職 (+0.9%)	関連URL	https://www.city.takehara.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/gyouzaisei/tihousousei/index.html

事業概要【歴史・文化資源を活用した経済活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,925千円 (45,975千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・魅力的なコンテンツや特産品の開発により、観光消費額の増加を図る ・デジタル技術の活用により、歴史や特産品などの地域資源の認知度向上を図る ・多様なコンテンツの活用事例・ノウハウの蓄積やデジタル技術の活用等により、受入体制の整備を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○魅力的なコンテンツの開発、開拓、活用 ・福山城等を活用して四季を通じたイベントの実施等（負担金）17,500千円 ・民間事業者による福山城等の利活用・魅力アップ事業への支援（補助金）5,000千円 ・農林水産物の6次産業化の推進への支援（補助金）3,000千円 ・農林水産物の付加価値の向上等をめざす事業者に対するアドバイザーの派遣（報償費）350千円 ・中心市街地の活性化支援（補助金）3,700千円 ○地域資源の認知度向上 ・OTA（Online Travel Agent）による認知度向上及びインバウンド等の集客（役務費）154千円 ・農林水産物の販路拡大に向けたブランド化等の支援（委託）3,323千円 ・文化財のデジタルアーカイブ化や情報のポータルサイトの開設、VRやARなどの最新技術を活用など、文化財の情報発信の基盤づくり（委託）5,000千円 ○受入環境の整備 ・福山城の多門櫓復元の検討・調査（委託）6,046千円 ・観光デジタルマップの充実・活用（委託）1,902千円  福山城周辺で実施するナイトタイムエコノミーや体験型コンテンツのイメージ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+21億円） ②2022年に福山城が築城400年を迎え、令和の大普請（改修工事）が完了したことを知っている市民の割合（+12.4%） ③交付金事業を通じて生まれたコンテンツ数（+12件）	関連URL	・観光デジタルマップ https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/miryoku2023/289615.html

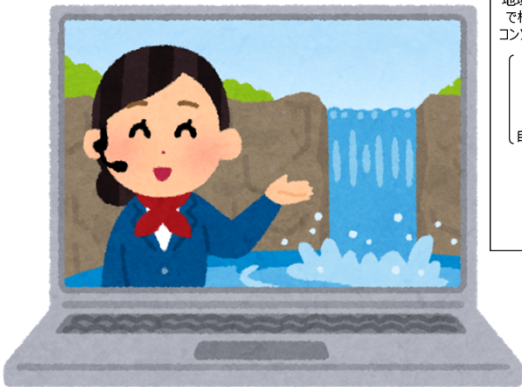
申請者	広島県福山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	202,000千円（57,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・持続可能な地域経済の発展 ・AI技術やデジタル技術の活用による業務効率化や生産性の向上、働きやすい職場づくり		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業へのデジタル化の啓発による意識醸成 企業でAI等の活用を促進するプラットフォームの構築・運営 17,000千円 ○導入すべきクラウドサービス等と企業のマッチングの促進 AI等を中心としたデジタルツールの展示会・マッチング 18,000千円 ○クラウドサービス等を導入する企業への伴走支援 ツールの選定から導入までの伴走支援 15,000千円 ○生成AI等のデジタル技術を活用したより高度な事例創出 活用事例の創出までを支援する実践型勉強会の開催 7,000千円 <pre>graph LR; A[デジタル化を検討している企業] --> B1["(1)意識醸成"]; A --> B2["(2)展示会・マッチング"]; B1 --> B3["(3)伴走支援"]; B2 --> B3; B3 --> C[デジタルツールを導入している企業]; C --> D["(4)生成AI等による 高度な事例創出支援"]; D --> E[生産性を向上した企業]; E -.-> 事例の提供 A</pre>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+100.23千円/人） ②「企業へのデジタル化の啓発による意識醸成」への参加企業数 （+300社） ③実装により生産性向上につながったと回答した企業数（+75社）		関連 URL 産業・地域版デジタル化実行計画 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/digital/299025.html

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【ミライを掴む観光・AI教育推進事業】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○	○	

推進補正

申請者	広島県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	72,660千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	観光地としての広島県のブランド価値がより高まり、更なる来訪の増加や評価の高まりにつながるといった好循環を生み、観光消費額が増加していくなど、観光が県経済の成長を支える産業の一つとなっていることを目指す。また、イノベーションの原動力となるデジタル人材の育成を推進し、広島が「イノベーション創出拠点」と国内外から認識されている状態を目指す。		
事業概要・主な経費	○大阪・関西万博を見据えたインバウンド誘客のための海外OTAと連携したプロモーション（観光連盟に対する負担金）50,000千円 ○AI技術の基礎を学ぶ県内高校生向け「ひろしまAI部」の推進によるデジタル人材の育成 ・広報に係る文書送付、チラシ作成費234千円 ・ひろしまAI部運営コンソーシアム事務局委託費22,426千円  運営全般 地域産業官で構成するコンソーシアム 企業・大学・自治体 講座・教材提供 企業・大学等からコーチ派遣 企画・運営・スタッフ派遣 ひろしまAI部 【活動場所】できれば校内 【オンライン】座学・演習 ・オンライン講座による学習、実験など ・質問はチャット等活用して適宜コーチに 【オンライン】コーチセッション ・コーチによる座学等進捗確認、疑問点等指導 ・コーチによるAI甲子園テーマ設定支援、指導 AI甲子園・企業訪問等 ・イベントとして「AI甲子園」を開催して、1年間の成果を競い、発表 ・生徒・企業のニーズに応じて、工場現場の見学や訪問先企業でのAI活用に向けたワークショップ等を検討 【活動場所】校外 参加 県内高校生・県内高校		
KPI	①地域における観光消費額（+18,554億円） ②外国人宿泊者数（+930万人） ③プログラム参加校数（+72校）	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	608,823千円（6,000千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	里山資源の新たな活用、デジタル機器を活用したものづくりの推進、デジタルの学びの場の提供や、ものづくりの文化を次世代に伝えていくためにデジタル教育と自然資源を組み合わせる取り組みを行うなど、豊かな自然と現代のテクノロジーとの融合を図る生活価値創出拠点として、地域の廃校を改修整備・再活用する。「生活デザイン・工学研究所」により、拠点に集う人や企業の様々な活動を通じて、地域内外の交流促進・魅力発信等を図り、交流・関係・移住人口の増加につなげ、持続可能な地域づくりを目指す。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	コミュニティスペースやテナントオフィス・コワーキングスペース、学び、宿泊等の機能を持たせた拠点「福富みらいベース」として廃校を改修整備し、地域内外の人が気軽に集える場とする。学びスペース（デジタル・エネルギー・ものづくり）には、デジタルファブリケーション機器等を設置し、里山ならではのデジタル教育を受けられる、新たなものづくりができる環境を整えるとともに、藻類培養実証研究やEVなどエネルギーの多様性についてのパネル・藻類の実物展示のほか、藻類からの燃料抽出体験等を行うことで、利用者増加や魅力向上を図る。 オンライン予約システムやスマートロックシステムを整備することで、利便性の向上につなげる。また、本施設の利用者等の移動を支えるため、地域の実情に合ったモビリティサービスを検討する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】設計費 6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①福富地域の人口（+0人） ②福富みらいベース利用者数（+12,000人） ③デジタル教育プログラム参加者数（+1,500人） ④テナントオフィス稼働率（+100%）	関連URL	調整中

事業概要【道の駅「来夢とごうち」を核とした観光拠点形成事業】

拠点当初

※PFI活用

申請者	広島県安芸太田町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,097,349千円 (29,480千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	JR可部線が廃線となり、町内各地を訪れる機会が失われ観光消費額が減少傾向にある中、現状の道の駅は物販や観光情報の提供を行う駅舎の老朽化も進み、来客者の居心地の悪化を招いていることから、本町の玄関口にある、産直、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅」をリニューアルし、魅力的な地場製品の販売や食の提供等を通して町内事業者の所得向上を図るとともに、町内観光資源のつなぎ手となり町内各地へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。		
整備内容・利活用方策	物販、飲食、情報提供、子育て支援、二次交通等の機能を一体的に整備し、集客性・回遊性向上を図るとともに、町内周遊観光を促す拠点機能を強化する。 運営面では、顧客情報 (CRM) と売上情報 (POSレジ) のクラウド型統合システムを導入することにより、顧客ニーズに合った効果的なサービスを提供するほか、地域通貨moricaとの連携により、キャッシュレス化を牽引する。また、セルフレジの導入により、施設の省人化・省力化を図る。 さらに、特別名勝「三段峡」を疑似体験できる多言語対応VR映像コンテンツを展示するほか、AI搭載自動翻訳機能付きデジタルサイネージの導入により、インバウンドを含む観光の動機付けや観光エリアとしての魅力増進に寄与する。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 【設計業務】 実施設計費 29,480千円		
KPI	①観光消費額 (+252,496千円) ②観光客数 (+132,308人) ③道の駅利用者数 (+160,654人) ④道の駅売上高 (+195,654千円)	関連URL	調整中